

第13回 沖縄県アンダー40 設計競技 ティーダフラッグス 2024 審査講評

今回の課題は、リノベーションがテーマとなっており、すごく難しかったと思います。我々も現地に行き、実際に敷地や建物を見たときに、既存の建物を活かしながらさらに新しい機能を加えて、魅力的な観覧席や管理棟となるにはどうしたらよいのかと考えていましたが、今回様々な案が出てきました。

最近、私の事務所でもリノベーションの仕事が増えているのですが、既存の建物をどう活かすのか、より良くするのか、新しく加えたところとどう一体としてまとめていくのかというところが、設計のコツだと思っています。

今回、建築で一体としてまとめようとした案、また、プロポーションやバランスのいい佇まいにした案など色々ありましたが、最終審査に残った最後の4組は、ほとんど僅差で、とても魅力的な作品ばかりだったと思います。今回、最終審査に残れなかった提案も含めた応募作品 23 作品は、ほとんどが力作揃いで、我々審査員も一次審査の時から票が分れて、議論しながら決めました。

今回、リノベーションがテーマとなったことは良かったと思います。今後こういう仕事が増えてくると思いますので、審査している我々もとても参考になりました。ぜひ今後も頑張ってくださいと思います。

金賞はじめ各賞を受賞された方々、おめでとうございます。

選考委員長 伊礼 智（有限会社伊礼智設計室 代表取締役）

